

(別添1)

No.	44
策定年月	令和2年4月
見直し年月	令和5年6月

水田農業高収益化推進計画

大分県

1. 水田において高収益作物・子実用とうもろこしの導入を図る目的

本県における水田の主たる利用形態は水稻(新規需要米含む)＋麦大豆である。全耕地面積に占める水田の割合は約7割を占め、水稻の作付面積割合は40%と九州(九州平均29%)で最も高く、米の依存度が高い営農形態となっている。

一方、年間10万tずつ減少する米の需要見通しと本県の主食用水稻の作付実績を加味すると、飼料用米や大豆等の拡大と併せ、収益性の高い園芸品目等の導入(水田畑地化)を進めていく必要がある。

この実現に向け、令和5年までの水田畑地化目標を700haと定め、県・市町村水田畑地化PTが一体となった推進体制の下に取り組み、平成29年度から令和4年度までの水田畑地化の累積実績は合計588haと順調に推移している。

水田畑地化の推進にあたっては、地域農業再生協議会を通じた農地や担い手の掘り起こし、既存の基盤整備事業に加え、排水や土壌改良等の簡易基盤整備による園芸団地の形成等の取組を更に強化する。併せて市町村の策定する「園芸産地づくり計画※1」に位置づけられた産地拡大推進品目等に対して、産地交付金、畑地化促進事業等を積極的に活用し、園芸品目の定着と産地形成を進め、農家所得の向上を目指す。

※1 園芸産地づくり計画

地域特性を生かしマーケットニーズのある品目について、生産から販売までのボトルネックの解消に向け、市町村が主体となり策定する、生産者・農業団体等が一体となった産地としての生産販売戦略

2. 目標
(1)推進方針

大分県は、各地域が産地化を目指すキク・イチゴ・ブドウ・梨・白ねぎキウイフルーツ、レモン・栗・枝豆・ほうれん草等を推進品目と位置付け、基本管理技術や適期の病害虫防除指導などの取組を推進することで生産性向上を図りつつ産地づくりを進める。

また、水田畑地化推進方針（平成29年3月策定）に基づき、県・市町村水田畑地化PTが一体となった推進体制の下、高収益作物の重要性や支援対策について周知するとともに、担い手対策等の各種対策に取り組み、基盤整備計画段階から地権者や経営体に対し支援を行うことで、更なる産地の創出を図り、令和5年までに園芸品目の農業産出額：744億円（対平成29年度比196億円増）を目指す。

(2)推進品目

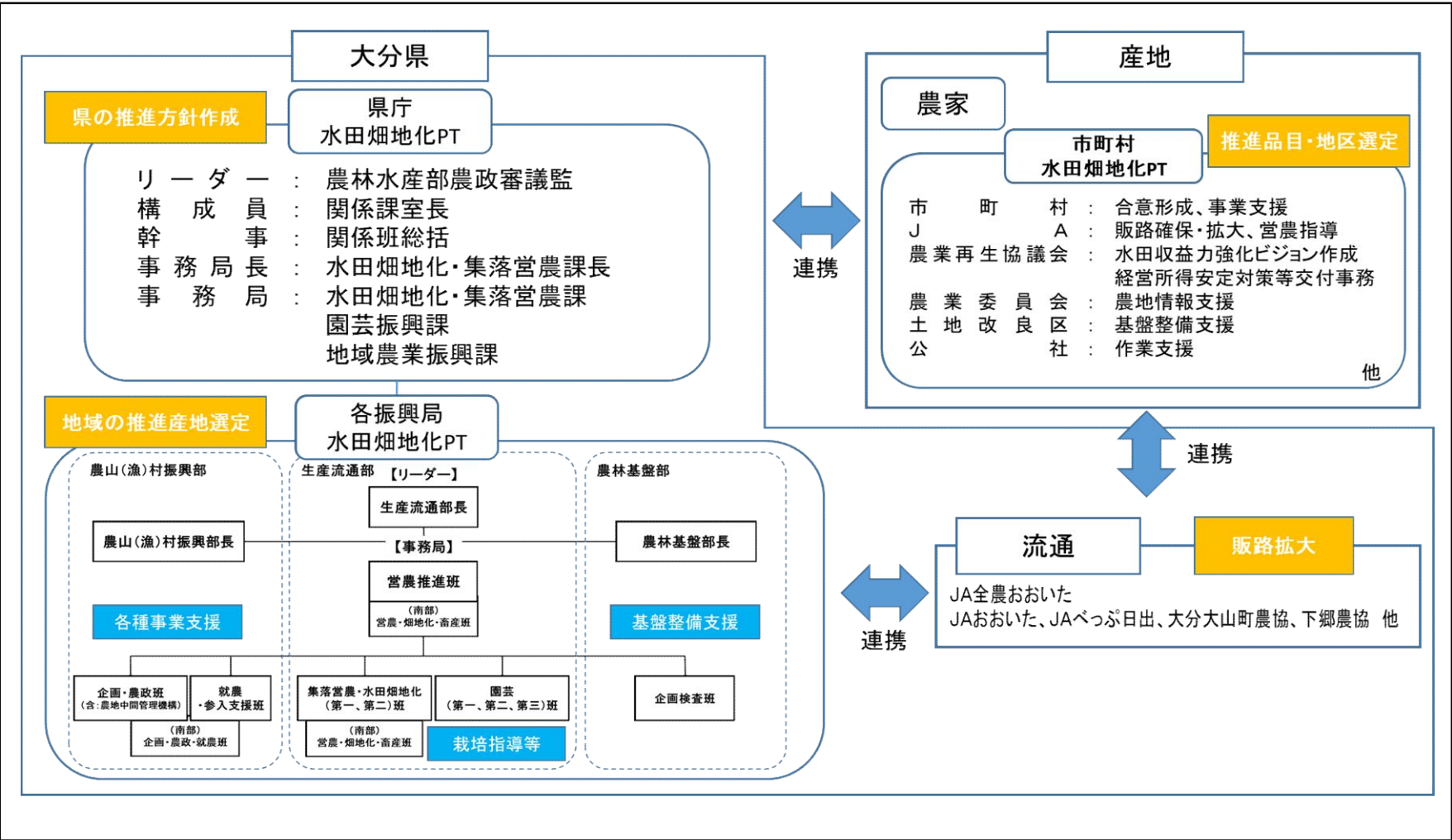
品目名	用途	露地／施設	選定理由	目標							
				作付面積の拡大		収量の向上		販売額の向上		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
キク	切り花用	施設	県の長期計画「大分農林水産業活力創出プラン2015」の重点品目に位置づけられている。主要出荷先の大阪市場、東京市場、福岡市場から安定出荷を求められており、ICTを活用した出荷予測システムを導入し、予約相対比率の向上を図っている。	0.00 ha (令和元年)	2.39 ha (令和8年)	千本／ 0 10a (令和元年)	千本／ 121.5 10a (令和8年)	0 円 (令和元年)	159,711,750 円 (令和8年)		
いちご	生食用 加工・業務用	施設	県の長期計画「大分農林水産業活力創出プラン2015」の重点品目に位置づけられており、県オリジナル品種「ベリーツ」の市場評価が高く、主要出荷先の京都市場から供給量の拡大を求められている。	1.44 ha (令和3年)	2.33 ha (令和9年)	5078 kg／ 10a (令和3年)	4,960 kg／ 10a (令和9年)	91,066,330 円 (令和3年)	140,819,144 円 (令和9年)		
ぶどう	生食用	施設	県の長期計画「大分農林水産業活力創出プラン2015」の重点品目に位置づけられており、改植を進めているシャインマスカットは、香港・タイ向けの輸出が増加している。	0.00 ha (令和元年)	0.30 ha (令和8年)	0 kg／ 10a (令和元年)	1,350 kg／ 10a (令和8年)	0 円 (令和元年)	3,507,300 円 (令和8年)		
梨	生食用	露地	県の長期計画「大分農林水産業活力創出プラン2015」の重点品目に位置づけられており、作付面積は全国10位。西日本有数の産地として市場評価が高く、引き合いが強い。台湾を中心にタイへの輸出も始まっている。	2.20 ha (令和元年)	5.70 ha (令和15年)	3778 kg／ 10a (令和元年)	3,852 kg／ 10a (令和15年)	53,028,008 円 (令和元年)	119,778,793 円 (令和15年)		
白ねぎ	生食用	露地	県の長期計画「大分農林水産業活力創出プラン2015」の重点品目に位置づけられており、西日本一の産地として、「大分白ねぎ」、「高原白ねぎ」のブランドで市場評価が高く、主要出荷先の京都市場や福岡市場から供給量の拡大を求められている。	25.60 ha (平成30年)	53.10 ha (令和9年)	1,521 kg／ 10a (平成30年)	2,287 kg／ 10a (令和9年)	145,089,024 円 (平成30年)	429,485,232 円 (令和9年)		
キウイフルーツ	生食用	露地	県の長期計画「大分農林水産業活力創出プラン2015」の重点品目に位置づけられており、国内の他産地や輸入品の端境期に出荷することで市場評価が高い。省力的品目で面積あたり所得が高いことから、新規就農者や参入企業向け品目として推進している。	2.16 ha (令和元年)	6.53 ha (令和12年)	1,686 kg／ 10a (令和元年)	1,822 kg／ 10a (令和12年)	17,228,238 円 (令和元年)	49,947,936 円 (令和12年)		
レモン	生食用 加工・業務用	露地	国産需要が高まっており、県内の既存産地に加え、参入企業による大規模生産による産地の拡大が進んでいる。また、管理作業が容易であることから、中山間地域の転換品目として推進している。	0.00 ha (令和元年)	10.82 ha (令和11年)	0 kg／ 10a (令和元年)	1,400 kg／ 10a (令和11年)	0 円 (令和元年)	56,199,080 円 (令和11年)		

(2)推進品目

品目名	用途	露地 ／ 施設	選定理由	目標							
				作付面積の拡大		収量の向上		販売額の向上		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
栗	生食用 加工・業務用	露地	国産需要が高まっているほか、地域特産加工品の原材料として増産を要望されている。また、管理作業が容易であることから、中山間地域の転換品目として推進している。	1.45 ha (令和元年)	12.33 ha (令和11年)	0 kg/ 10a	217 kg/ 10a	0 円 (令和元年)	16,388,117 円 (令和11年)		
えだまめ	生食用 加工・業務用	露地	国産需要が高まっており、県内市場に出荷するほか、契約取引を行う実需者から学校給食や病院食等の加工原材料として出荷要望があり、産地化を目指している。また、大豆栽培からの転換が容易で機械化一貫体系も可能であることから、転換品目として推進している。	0.00 ha (令和元年)	10.04 ha (令和6年)	0 kg/ 10a	480 kg/ 10a	0 円 (令和元年)	24,818,800 円 (令和6年)		
ほうれんそう	加工・業務用	露地	国産需要が高まっており、契約取引を行う実需者から増産を要望されている。また、管理作業が容易であることから、転換品目として推進している。	0.00 ha (令和元年)	4.21 ha (令和6年)	0 kg/ 10a	1,800 kg/ 10a	0 円 (令和元年)	4,167,900 円 (令和6年)		
アスパラガス	生食用	施設	企業参入による産地化が見込まれる品目であり、大手量販店と契約した青果販売に取り組む。	0.00 ha (令和3年)	3.00 ha (令和10年)	0 kg/ 10a	1,800 kg/ 10a	0 円 (令和3年)	56,160,000 円 (令和10年)		
梅	加工・業務用	露地	出荷先となる農協が主体となって、新植や新規就農者の育成、流通・販売方法の見直し等の既存産地の再形成のための取組が進められている。	0.60 ha (令和2年)	0.78 ha (令和12年)	0 kg/ 10a	1,119 kg/ 10a	0 円 (令和2年)	2,859,948 円 (令和12年)		
柿	加工・業務用	露地	水田への新植により規模拡大を図るとともに、将来的には加工業者との連携や自家加工に取り組み、販売額の向上を目指している。	0.00 ha (令和3年)	1.32 ha (令和14年)	0 kg/ 10a	880 kg/ 10a	0 円 (令和3年)	1,777,135 円 (令和14年)		
大葉	生食用	施設	大葉は、県が重点支援する「産地づくり計画」を策定している大分市の主要園芸品目で、西日本一の生産量があり、産地の維持・拡大を図っている。	0.00 ha (令和3年)	1.20 ha (令和14年)	0 kg/ 10a	2,541 kg/ 10a	0 円 (令和3年)	86,383,836 円 (令和14年)		
こねぎ (土耕)	生食用 加工・業務用	施設	県として短期集中県域支援品目に位置づけられており、産地拡大に向け、担い手の育成や生産安定対策技術の導入および新たな販路の開拓が進められている。	17.29 ha (令和4年)	17.71 ha (令和6年)	3,524 kg/ 10a	3,656 kg/ 10a	523,767,150 円 (令和4年)	538,090,696 円 (令和6年)		
こねぎ (水耕)	生食用 加工・業務用	施設		0.00 ha (令和4年)	0.31 ha (令和6年)	0 kg/ 10a	14,400 kg/ 10a	0 円 (令和4年)	29,296,800 円 (令和6年)		

※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。
※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合、項目を分けて記載する。
※ 「選定理由」欄には、①出荷先が確保されているか、②既存産地等との競合により需給バランスに乱れが生じないか、③ロットは確保できないなどの観点にも留意して記載する。（関係資料の添付でも可。また、審査に当たって追加資料の提出を求めることがある。）
※ 設定した目標値の妥当性が分かる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

3. 推進体制及び役割



4. 目標達成に向けた取組

(1) 品目共通の取組

県・市町村水田畑地化PTが一体となった推進体制の下、技術対策・担い手対策・優良農地対策・出口対策等に取り組む。

(2) 推進品目ごとの取組

品目名	取組内容			
	作付面積の拡大	収量の向上	販売額の向上	その他
キウ	地元の営農組合と連携し、農地中間管理機構を通した農地の集積を行う	害虫発生調査や病害検定などから適切な防除を指導するとともに、生育段階に応じた温湿度管理による安定的な苗生産ができるよう支援する	上位規格等級品の生産率向上を図り、経営安定のため、販売単価が安定する相対取引率向上に向けた支援を行う	
いちご	地元の営農組合と連携し、農地中間管理機構を通した農地の集積を行う	技術検討会等により、防除暦作成支援、花芽検鏡による適期定植支援等等、地域の実情に応じた管理を支援する	JAとの情報共有により販売実績分析等の支援を行う	
ぶどう	地元の営農組合と連携し、農地中間管理機構を通した農地の集積を行う	整枝剪定等の基本管理技術や適期の病害虫防除指導により、果実品質を向上させ、計画的な生産を支援する。	房づくり指導による秀品率の向上および安定的な取引先の確保など、経営安定に向けた販路拡大等の支援を行う	
梨	農地中間管理機構を通した農地集積について、事業活用等の取組支援を行うとともに、基盤整備事業による、水田畑地化で作付面積の拡大を行う	果樹経営対策支援事業を活用し、大苗を植栽することにより早期成園化を図る	品種の検討及び剪定摘果などの管理指導、黒星病適期防除等により秀品率の向上を図る	
白ねぎ	基盤整備事業による、水田畑地化で作付面積の拡大を行う	軟腐病、白絹病を中心とした夏期重要病害の適期防除と土作りの重点指導を行うとともに、産地において近年問題となるシロイチモジヨウに対して、交信かく乱剤を基幹防除に位置づけ、化学農薬他、総合的な病害虫防除を行う	適期定植、適期防除の徹底に加え、交信かく乱剤を使用したシロイチモジヨウ食害による品質低下の防止や暗渠排水を設置し、排水不良による生育遅れを回避することにより、収穫始期を遅らせないための安定生産に向けた支援を行い、有利販売に繋げる	
キウイフルーツ	農地中間管理機構を通した農地集積について、事業活用等の取組支援を行うとともに、基盤整備事業による、水田畑地化で作付面積の拡大を行う	苗木管理指導(かん水、施肥、仕立て)と併せて、果樹経営対策支援事業を活用し、大苗を植栽することにより早期成園化を図る	県域共販出荷の推進およびそれに対応した果実生産指導(摘果、収穫前防除)により販売額の増加を図る	
レモン	地元集落と連携し、農地中間管理機構を通した農地の集積を行う	基本管理技術や適期の病害虫防除指導により、生産量及び果実品質を向上させ、計画的な生産を支援する	付加価値を高める加工用果実の生産及び青果市場向け果実の高品質生産支援を行う	

(2) 推進品目ごとの取組

品目名	取組内容			
	作付面積の拡大	収量の向上	販売額の向上	その他
栗	くり学校の開催等による新規栽培者の確保に努めるとともに、地元集落と連携し、農地中間管理機構を通した農地の集積を行う	病害虫であるモモノゴマダラメイガ等に対して適期の薬剤散布を指導するとともに、冬季の剪定や春～秋にかけての除草の指導を行う。	青果販売や、付加価値を高めた加工販売の支援を行う	
えだまめ	地元集落と連携し、農地中間管理機構を通し、集落営農組織や大規模水稻農家を中心に農地の集積を行う。	作型や品種の実証試験を実施し、当地域にあった、枝豆の生産を支援するとともに、排水対策及び適期の除草作業とカメムシ類防除の徹底により収量の向上を図る。	食品企業と連携し、加工向け契約栽培に取り組むとともに、佐伯市に調整場を設置することにより青果販売に取り組む。 また、優良モデル経営者の育成支援により収量向上及び品質向上を図る	
ほうれんそう	地元集落と連携し、農地中間管理機構を通し、集落営農組織や大規模水稻農家を中心に農地の集積を行う。	作型や品種の実証試験を実施し、当地域にあった、ほうれん草の生産を支援するとともに、排水対策及び適期の除草作業とベト病・アブラムシ防除の徹底により収量の向上を図る。	食品企業と連携し、加工向け契約栽培に取り組むとともに、優良モデル経営者の育成支援により収量向上及び品質向上を図る	
アスパラガス	基盤整備事業による、水田畑地化で作付面積の拡大を行う	作型や品種の実証試験を実施し、当地域にあったアスパラガスの生産を支援するとともに、排水対策及び適期の除草作業と茎枯れ病、アザミウマ防除の徹底により収量の向上を図る。	大手量販店と契約することで青果販売に取り組む。優良モデル経営者の育成支援により収量向上及び品質向上を図る	
梅	農事組合法人と連携し、農地中間管理機構を通した農地の集積を行うことで面積拡大を図る。	剪定や仕立て方等基本的な栽培管理技術や晩霜対策指導により、安定した収量確保を図る。	大山町農業協同組合と連携し、市場拡大や消費者との接点を持つ活動を行うことで販売力強化に取り組む。	
柿	飼料作物及びWCS用稲からの品目転換による水田畑地化で作付面積の拡大を行う。	整枝剪定等の基本管理技術や適期収穫の徹底により、収量と果実品質の向上を図り、計画的な生産を支援する。	当面はJA出荷を基本とするが、将来的には加工業者との連携や自家加工に取り組み、販売額の向上を図る。	
大葉	基盤整備事業による、水田畑地化で作付面積の拡大を行う。	収穫調整に多くの労力がかかる品目のため、外国人技能実習制度の活用等によりコロナ禍で不足していた収穫調整労力を確保し、収量回復を図る。	大葉はJA出荷を行い、作付面積の拡大により、コロナ禍からの外食等飲食業界の需要回復に合わせた出荷・販売を行うことで、販売額の向上を図る。	
こねぎ	トレーニングファームによる担い手の育成と県単・国庫事業を活用した施設の整備により作付面積の拡大を図る。	遮光ネットや適切な灌水指導等の夏季生産安定対策技術の導入により、安定した収量確保を図る。	共同調整場やパッケージセンターの運用効率化や業務需要など新たな販売チャネルの拡大により販売額の向上を図る。	

5. 産地推進計画の作成主体

No	作成主体名	関係市町村	備考
1	大分市	大分市	
2	臼杵市	臼杵市	
3	佐伯市	佐伯市	
4	日田市	日田市	
5	豊後高田市	豊後高田市	
6	中津市	中津市	
7	由布市	由布市	
8	宇佐市	宇佐市	
9	豊後大野市	豊後大野市	
10	国東市	国東市	
11	杵築市	杵築市	

※ 各主体が作成した「産地推進計画」を添付するものとする。

(別添2)

No.	44-001
策定年月	令和2年4月
見直し年月	令和5年6月

水田農業高収益化推進計画 大分市産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	大分市
構成機関・団体名及び役割分担	大分県中部振興局 大分市 大分県農業協同組合 大分市農業委員会 大分市農業再生協議会 初瀬井路土地改良区 ・計画策定のとりまとめ ・支援事業、栽培技術等の情報提供 ・支援事業の実施 ・地域の合意形成の推進 ・支援事業の情報提供、実施 ・販売先の確保 ・支援事業の実施 ・営農指導の実施 ・農地情報の収集 ・農地集積・集約の推進 ・水田活用の直接支払交付金の活用促進 ・水田収益力強化ビジョンの作成 ・水田農業高収益化推進助成に係る事務 ・農地情報の収集 ・基盤整備事業の情報収集 ・土地改良施設の管理 ↓ ↑ 農家

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
キク	切り花用	施設	賀来中尾地区	0 ha (令和元年)	2.39 ha (令和8年)	0 本/10a (令和元年)	121,500 本/10a (令和8年)	0 円 (令和元年)	159,711,750 円 (令和8年)		
イチゴ	生食用	施設	賀来中尾地区	0 ha (令和元年)	0.28 ha (令和8年)	0 kg/10a (令和元年)	5,700 kg/10a (令和8年)	0 円 (令和元年)	16,071,720 円 (令和8年)		
ブドウ	生食用	施設	賀来中尾地区	0 ha (令和元年)	0.3 ha (令和8年)	0 kg/10a (令和元年)	1,350 kg/10a (令和8年)	0 円 (令和元年)	3,507,300 円 (令和8年)		
大葉	生食用	施設	北鼻地区	0 ha (令和3年)	1.2 ha (令和14年)	0 kg/10a (令和3年)	2,541 kg/10a (令和14年)	0 円 (令和3年)	86,383,836 円 (令和14年)		

※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、

「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。

※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

(別添2)

No.	44-002
策定年月	令和2年6月
見直し年月	令和4年1月

水田農業高収益化推進計画
臼杵市産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	臼杵市
構成機関・団体名及び役割分担	大分県中部振興局 臼杵市 臼杵市農業再生協議会 JAおおいた南部事業部 ・計画作成のとりまとめ ・支援事業、栽培技術等の情報提供 ・支援事業の実施 ・担い手確保や規模拡大 ・支援事業の情報提供、実施 ・水田活用の直接支払交付金の交付事務 ・水田収益力強化ビジョンの作成 ・水田農業高収益化推進助成に係る事務 ・キウイ集出荷、販売先の確保 ・規模拡大支援 ↓ ↑ 農家

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
キウイフルーツ	生食用	露地	上北・佐志生	1.96 ha (令和元年)	2.61 ha (令和11年)	1,734 kg/10a (令和元年)	2,005 kg/10a (令和11年)	16,289,278 円 (令和元年)	22,843,857 円 (令和11年)		

- ※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。
- ※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、
「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。
- ※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

No.	44-003
策定年月	令和2年6月
見直し年月	令和3年12月

水田農業高収益化推進計画
佐伯市産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	佐伯市
構成機関・団体名及び役割分担	南部振興局 佐伯市 佐伯市農業再生協議会 大分県農協 佐伯市農業委員会 (公財)さいき農林公社 大分県農地中間管理機構 ・計画作成のとりまとめ ・支援事業、栽培技術等の情報提供 ・支援事業の実施 ・担い手確保・支援 ・基盤整備の実施 ・地域の合意形成の推進 ・支援事業の情報提供、実施 ・農地集積・集約の推進 ・担い手確保・支援 ・基盤整備の実施 ・水田活用の直接支払交付金の活用促進 ・水田収益力強化ビジョンの作成 ・水田農業高収益化推進助成に係る事務 ・農地情報の収集 ・販売先の確保 ・支援事業の実施 ・営農指導の実施 ・農地情報の収集 ・農地集積・集約の推進 ・農作業受託の実施 ・農地集積・集約の推進 ↓ ↑ 農家

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
レモン	生食用加工・業務用	露地	蒲江畑野浦地区	0 ha (令和元年)	10.82 ha (令和11年)	0 kg/10a (令和元年)	1,400 kg/10a (令和11年)	0 円 (令和元年)	56,199,080 円 (令和11年)		
栗	生食用加工・業務用	露地	宇目地区	1.45 ha (令和元年)	10.00 ha (令和11年)	0 kg/10a (令和元年)	240 kg/10a (令和11年)	0 円 (令和元年)	14,736,000 円 (令和11年)		
枝豆	生食用加工・業務用	露地	番匠川流域	0 ha (令和元年)	10.04 ha (令和6年)	0 kg/10a (令和元年)	480 kg/10a (令和6年)	0 円 (令和元年)	24,818,800 円 (令和6年)		
ほうれん草	加工・業務用	露地	番匠川流域	0 ha (令和元年)	4.21 ha (令和6年)	0 kg/10a (令和元年)	1,800 kg/10a (令和6年)	0 円 (令和元年)	4,167,900 円 (令和6年)		
キウイフルーツ	生食用	露地	弥生地区	0 ha (令和3年)	2.0 ha (令和11年)	0 kg/10a (令和3年)	1,995 kg/10a (令和11年)	0 円 (令和3年)	16,758,000 円 (令和11年)		

※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。

※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

(別添2)

No.	44-004
策定年月	令和2年6月
見直し年月	令和3年11月

水田農業高収益化推進計画
日田市産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	日田市	
構成機関・団体名及び役割分担	日田市農業振興課生産・流通推進係	計画の作成・申請、進行管理
	日田市農業振興課政策・担い手支援係	人・農地プランの実質化、担い手の確保・育成
	日田市農業振興課基盤整備係	基盤整備
	日田市農業再生協議会	水田収益力強化ビジョンの作成、水田活用の直接支払交付金の活用促進、水田農業高収益化推進助成に係る事務
	大分県農業協同組合西部事業部営農支援企画課	営農・販売・経営指導
	大分大山町農業協同組合営農事業部営農課	営農・販売・経営指導
	日田市農業委員会	農地の集積・集約化
	農地中間管理機構	農地の集積・集約化
	西部振興局農山村振興部	計画の作成指導、企業参入の支援、6次産業化の支援
	西部振興局生産流通部	営農・販売・経営指導、現地実証圃の実施
	西部振興局農林基盤部	基盤整備

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
梨	生食用	露地	入江地区	0 ha (令和元年)	2.09 ha (令和11年)	0 kg/10a (令和元年)	3,000 kg/10a (令和11年)	0 円 (令和元年)	19,650,180 円 (令和11年)		
梅	加工・業務用	露地	大山地区	0.6 ha (令和2年)	0.78 ha (令和12年)	0 kg/10a (令和2年)	1,119 kg/10a (令和12年)	0 円 (令和2年)	2,859,948 円 (令和12年)		

※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、

「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。

※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

(別添2)

No.	44-005
策定年月	令和2年6月
見直し年月	令和5年5月

水田農業高収益化推進計画
豊後高田市産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	豊後高田市
構成機関・団体名及び役割分担	大分県北部振興局 豊後高田市 大分県農業協同組合 豊後高田市農業委員会 豊後高田市農業再生協議会 並石土地改良区、浦田土地改良区、宇佐土地改良区 ・計画作成のとりまとめ ・支援事業、栽培技術等の情報提供 ・支援事業の実施 ・地域の合意形成の推進 ・支援事業の情報提供、実施 ・販売先の確保 ・支援事業の実施 ・営農指導の実施 ・農地情報の収集 ・農地集積・集約の推進 ・水田の直接支払交付金の活用促進 ・水田フル活用ビジョンの作成 ・水田農業高収益化推進助成に係る事務 ・畑地化促進事業に係る情報共有 農家

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
白ねぎ	生食用	露地	豊後高田	25.6 ha (平成30年)	46.9 ha (令和7年)	1,601 kg/10a (平成30年)	2,200 kg/10a (令和7年)	145,089,024 円 (平成30年)	355,132,800 円 (令和7年)		
いちご	生食用	施設	来縄・築地地区	0.39 ha (令和2年)	0.8 ha (令和9年)	4,736 kg/10a (令和2年)	4,270 kg/10a (令和9年)	23,516,799 円 (令和2年)	44,460,000 円 (令和9年)		

※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。

※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

(別添2)

No.	44-006
策定年月	令和3年8月
見直し年月	

水田農業高収益化推進計画
中津市産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	中津市					
構成機関・団体名						
及び役割分担	大分県北部振興局 ・ 計画作成の取りまとめ ・ 支援事業、栽培技術等の情報提供 ・ 支援事業の実施	中津市 ・ 地域の合意形成の推進 ・ 支援事業の情報提供、実施 ・ 土地改良施設の管理	大分県農業協同組合 ・ 販売先の確保 ・ 支援事業の実施 ・ 営農指導の実施	中津市農業委員会 ・ 農地情報の収集 ・ 農地集積・集約の推進	中津市農業再生協議会 ・ 水田の直接支払交付金の活用促進 ・ 水田収益力強化ビジョンの作成 ・ 水田農業高収益化推進助成に係る事務	五十石川水利組合 ・ 土地改良施設の維持・管理
↑ ↓ 市内農業者						

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
アスパラガス	生食用	施設	鍋島	0 ha (令和3年)	3.0 ha (令和10年)	0 kg/10a (令和3年)	1,800 kg/10a (令和10年)	0 円 (令和3年)	56,160,000 円 (令和10年)		

※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。

※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

(別添2)

No.	44-007
策定年月	令和3年9月
見直し年月	

水田農業高収益化推進計画
由布市産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	由布市
構成機関・団体名及び役割分担	大分県中部振興局 - 計画作成の取りまとめ - 支援事業の情報提供及び実施 - 栽培技術指導の実施 由布市 - 地域の合意形成の推進 - 支援事業の情報提供、実施 大分県農業協同組合 - 販売先の確保 - 支援事業の実施 - 営農指導の実施 由布市農業委員会 - 農地情報の収集 - 農地集積、集約の推進 由布市農業再生協議 - 水田活用の直接支払交付金の活用促進 - 水田収益力強化ビジョンの作成 - 水田農業高収益化推進助成に係る事務 水路管理組合 (今後設立予定) - 水路等の管理 農家

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
梨	生食用	露地	平石	2.2 ha (令和3年)	3.6120 ha (令和15年)	3,778 kg/10a (令和3年)	4,345 kg/10a (令和15年)	53,028,008 円 (令和3年)	100,128,613 円 (令和15年)		
キウイ	生食用	露地	平石	0.2 ha (令和3年)	1.9156 ha (令和12年)	1,210 kg/10a (令和3年)	1,392 kg/10a (令和12年)	938,960 円 (令和3年)	10,346,079 円 (令和12年)		

※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、
「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。

※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

(別添2)

No.	44-008
策定年月	令和3年8月
見直し年月	令和5年5月

水田農業高収益化推進計画
宇佐市産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	宇佐市					
構成機関・団体名						
及び役割分担	大分県北部振興局 ・計画作成のとりまとめ ・支援事業、栽培技術等の 情報提供 ・支援事業の実施	宇佐市 ・地域の合意形成の推進 ・支援事業の情報提供、実 施	大分県農業協同組合 ・販売先の確保 ・支援事業の実施 ・営農指導の実施	宇佐市農業委員会 ・農地情報の収集 ・農地集積・集約の推進	宇佐市農業再生協議会 ・水田の直接支払交付金の活 用促進 ・水田収益力強化ビジョンの作 成 ・水田農業高収益化推進助成	宇佐土地改良区 ・基盤整備事業の情報 収集 ・土地改良施設の管
↑ ↓ 農家						

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
白ネギ	生食用	露地	新浜	0.5 ha (令和2年)	6.2 ha (令和9年)	2,559 kg/10a (令和2年)	2,943 kg/10a (令和9年)	4,503,840 円 (令和2年)	64,228,032 円 (令和9年)		

※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、

「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。

※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

(別添2)

No.	44-009
策定年月	令和4年1月
見直し年月	令和5年6月

水田農業高収益化推進計画
豊後大野市産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	豊後大野市
構成機関・団体名及び役割分担	豊肥振興局 豊後大野市 豊後大野市農業再生協議会 大分県農協 豊後大野市農業委員会 - 計画作成の取りまとめ - 支援事業、栽培技術等の情報提供 - 支援事業の実施 - 担い手確保・支援 - 営農指導の実施 - 地域の合意形成の推進 - 支援事業の情報提供、実施 - 農地集積、集約の推進 - 担い手確保・支援 - 基盤整備の実施 - 水田活用の直接支払交付金の活用促進 - 水田収益力強化ビジョンの作成 - 水田農業高収益化推進助成に係る事務 - 販売先の確保 - 支援事業の実施 - 農地情報の収集 - 農地集積・集約の推進 <pre> graph TD A[豊肥振興局] --> E[農家] B[豊後大野市] --> E C[豊後大野市農業再生協議会] --> E D[大分県農協] --> E F[豊後大野市農業委員会] --> E </pre>

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
柿	加工・業務用	露地	緒方町栗生地区	0.00 ha (令和3年)	1.32 ha (令和14年)	0 kg/10a (令和3年)	880 kg/10a (令和14年)	0 円 (令和3年)	1,777,135 円 (令和14年)		
栗	生食用	露地	緒方町小原地区	0.79 ha (令和4年)	1.08 ha (令和15年)	0 kg/10a (令和4年)	180.0 kg/10a (令和15年)	0 円 (令和4年)	1,137,990 円 (令和15年)		
栗	生食用	露地	朝地町栗林地区	0.00 ha (令和4年)	1.25 ha (令和15年)	0 kg/10a (令和4年)	180.0 kg/10a (令和15年)	0 円 (令和4年)	1,328,079 円 (令和15年)		

※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、

「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。

※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

(別添2)

No.	44-010
策定年月	令和5年6月
見直し年月	

水田農業高収益化推進計画
国東市産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	国 東 市					
構成機関・団体名 及び役割分担	大分県東部振興局	国東市	JAおおいた東部事業部	国東市農業委員会	国東市農業再生協議会	JA東部こねぎ部会
	・計画作成の取りまとめ ・支援事業の情報提供 ・栽培技術等の普及と技術情報 等の提供 ・支援事業の実施	・地域の合意形成の推進 ・支援事業の情報提供、実施	・販売先の確保 ・支援事業の実施 ・営農指導の実施	・農地情報の収集 ・農地集積・集約の推進	・水田の直接支払交付金の活用 促進 ・水田収益力強化ビジョンの作成 ・水田農業高収益化推進助成に 係る事務	・部会員の生産量調査 ・生産・調整量の調整
	↑ ↑ 市 内 農 業 者					

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／ 施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
小ねぎ (土耕)	生食用 加工・業 務用	施設	国東	17.29 ha (令和4年)	17.71 ha (令和6年)	3,524 kg/10a (令和4年)	3,656 kg/10a (令和6年)	523,787,150 円 (令和4年度)	538,090,686 円 (令和6年度)		
小ねぎ (水耕)	加工・業 務用			0 ha (令和4年)	0.313 ha (令和6年)	0 kg/10a (令和3年)	14,400 kg/10a (令和6年)	0 円 (令和4年度)	29,296,800 円 (令和6年度)		

※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合は別途記載。

「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物の作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。

※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

(別添2)

No.	44-011
策定年月	令和5年6月
見直し年月	

水田農業高収益化推進計画
杵築市産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	杵 築 市					
構成機関・団体名 及び役割分担	大分県東部振興局	杵築市	JAおおいた東部営農経済センター	杵築市農業委員会	杵築市農業再生協議会	杵築いちご研究会
	・計画作成の取りまとめ ・支援事業の情報提供 ・栽培技術等の普及と技術情報等の提供 ・支援事業の実施	・地域の合意形成の推進 ・支援事業の情報提供、実施	・販売先の確保 ・支援事業の実施 ・営農指導の実施	・農地情報の収集 ・農地集積・集約の推進	・水田の直接支払交付金の活用促進 ・水田収益力強化ビジョンの作成 ・水田農業高収益化推進助成に係る事務	・部会員の生産量調査 ・生産・調整量の調整
	市内農業者					

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
いちご	生食用 加工・業務用	施設	東・溝井地区	1.05 ha (令和3年)	1.25 ha (令和6年)	5,240 kg/10a (令和3年)	5,233 kg/10a (令和6年)	67,393,491 円 (令和3年)	80,287,424 円 (令和6年)		

※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合は別途記載。

「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物の作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。

※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。